めいろうこどもえん　2月園だより

２０１５年度　年主題〈『平和』をつくる〉

0･1･2歳児２月主題　「あそぼう」

月のねがい

◎手や指を十分使って遊ぶ
◎保育者や身近な友だちとのつながりが深まる
◎冬の生活習慣を知る
◎日々の生活場面の中で祈ろうとする

3･4･5歳児２月主題　「いっしょに」

月のねがい

◎冬の生活習慣を身につける
◎友だちと協力し、アイディアを出しあい、工夫して遊ぶ
◎お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる

今月の聖句　「わたしをねっしんにさがすものは、わたしをみつける。」

箴言8:17

種子島シオン学園の目指す目標は「探求･感謝」です。「何故だろう？」「何故こうなるの？」「蝶蝶は何を食べるの？」「小鳥は何を食べるの？」「魚は何を食べるの？」「牛は何を食べるの？」「豚は何を食べるの？」など、食べ物のことだけでも探求していくと、世界の食料問題にまでたどり着きます。捨てるほど食料がある国と、食料が足りず栄養失調で1分間に7人、1日に168人、1ケ月に約5千人が、1年間に約6万人が命を落としていること。こどもの探求心を旺盛にするために、出来るだけ「何故？」を呼び覚ます遊びやお話で子どもの環境設定がなされます。こどもの「何故？」には、面倒がらずに親子で探求することをお勧めします。そして、最後に行き着くところは「神様を知る」ところへ到達することです。イエス･キリストも言われました「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見出す。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」マタイ福音書7:7（セブン･セブンで覚えやすいですね！）

前理事長　池田公榮

２月の行事予定

１日（月）	おゆうぎ会振替休日（1号）
３日（水）	まめまき
１３日（土）	持久走大会（9:00 ～）
１５日（月）	持久走大会予備日
２３日（火）	２・３月誕生会
２５日（木）	冬の一日遠足
２９日（月）	参観日（あじさい･こすもす）

３月の行事予定

１日（火）	参観日（たんぽぽ･すみれ）
４日（金）	お別れ会･給食ﾊﾞｲｷﾝｸﾞ
１８日（金）	卒園式･父母の会決算総会（1号:午前保育）
２２日（火）	修了式（1号:午前保育）

１～３号認定
入園申込み受付開始
引き続きご紹介を
宜しくお願いします！

言葉を届ける

おゆうぎ会に向けてお稽古まっただ中、私はキリスト教保育連盟の園長主任会のため、薩摩川内にあるのぞみ幼稚園に行って来ました。昨年3月に、転勤でお引っ越ししたお友だちが通っているということと、今年度から認定こども園としてスタートをした園ということもあり、とても楽しみにしていました。お引っ越しをした男の子を見て、慣れるまでの間どんなに心細かっただろう…と思うと涙が出ました。でも、今ではすっかりこの園に慣れ、お友だちもできたようでニコニコしていました。

0.1.2歳児の様子を見せていただいた中で、特に印象的だったのは、「言葉を届ける」というお話です。ビックリするぐらい静かに穏やかに過ごしており、職員一人一人が子どもたちにささやくように声かけしているのです。先生方は発する言葉を大事にされ、一つ一つの言葉をその子にプレゼントするつもりで話をしているとのことでした。ちょうど前日、反抗期に足が一歩浸かっている中1の息子と大げんかをして出て来たことをふと思い出しました。なんと思いやりのない言葉を息子に届けてしまったことかと、大いに反省しました。

子どもたちにとって保育者や保護者は、育ちに必要な環境の一部です。子どもたちの道標として憧れを持つ存在です。何気ない言葉も会話も、その子にプレゼントするつもりで伝えていかなければ…と思うことでした。

さて、日曜日はいよいよおゆうぎ会です。昨年「サーカスなんていやだ！年長の"男道"をやりたい！」と訴えた男の子が、成長の階段を上り、いよいよ念願のかっこいいおゆうぎを披露します。予行よりも涙が出るほど100倍かっこよく、かわいくなった子どもたちを、どうぞ応援してあげて下さい。　森山

環境を整える使命

記録的な暖冬と言われた今年の冬。が、…なんと日曜日は種子島でも暴風、みぞれ、あられ、雪の一日となりました。久々に凍えるような天候でしたが、子どもたちにとっては歓喜の一日だったことでしょう。

それでも暦の上ではもう春。もちろん、まだまだ寒い日が続いていますが、次第に日差しや肌に触れる風が、心地よくなってきています。啓蟄（けいちつ）とは、冬ごもりしていた土の中の虫たちが這い出てくる季節。春はもうそこまで来ています。。

県内の私立幼稚園・認定こども園では、各支部毎に研修テーマが与えられます。熊毛地区の来年度から始まる二年間のテーマは、「子どもと共に創り出す環境構成」になりました。幼児教育で言うところの「環境」とは何でしょう。まずは「物的環境」です。子どもたちは、園舎・園庭から教具・遊具に至るまで多くのモノに囲まれています。その一つ一つが教育的な意味を持たなければなりません。次に、自然や天候などの様々な状況である「事象的環境」です。幼児期の生活には欠かすことのできない屋外での活動には、自然との関わりが大いに必要です。泥や水にまみれ、風や雨を五感で味わうことは自律神経や免疫力を高める大切な助けとなるでしょう。そして、最も重要なものは、「人的環境」ではないでしょうか。両親を第一に、友だちや保育者。周囲のあらゆる人々すべてが子どもたちの育ちに影響する環境なのです。

おゆうぎ会などの表現活動においても、物的・人的環境の構成はとても大切です。テーマを一緒に探すための絵本やビデオ等の選択。気持ちを高めていく衣装や小道具の検討。所作や動きのアイデアをぶつけ合う関係性。保育者と子どもたちが一体となって創り上げる時間と空間…。戸惑い、葛藤、不安を経て自信や意欲に変化していきます。発表そのものより、そこに至る過程がリアルな育ちを実感させてくれます。子どもたちが興味や関心を持ち、思わず関わりたくなるような物や人、事柄に出会う中で、試行錯誤を重ね主体性が育まれるのだと思います。ご家庭とこども園が、子どもたちが安心感・安定感が得られるふさわしい環境でありたいものです。

二月は持久走大会や遠足が楽しみです。寒い中、園内を懸命に走る元気いっぱいの子どもたち。友と競い合いながら厳しさに耐えゴールを目指す姿に元気をもらいます。うがい・手洗い励行に引き続きご協力をお願いします。

園　長

親子触れあい体操のすすめ

前橋　明　（早稲田大学教授　医学博士）

便利さや時間の効率性を重視するあまり、歩くことが少なくなってしまったり、親子のふれ合いや歩くという運動量確保の時間が減っていき、会話も少なくなり、体力低下や外界環境に対する適応力、自律神経の機能を低下させています。テレビやビデオの使いすぎも対人関係能力や言葉の発達を遅らせコミュニケーションのとれない子ども、空間認知能力の弱い子どもにしています。

ここは、腰を据えて乳幼児期から親子のふれ合いがしっかりもてて、かつ、からだにも良いことを実践していかなければならないでしょう。そこで、提案があります。それは、「親子体操」という親子で簡単にできる運動の実践です。

まずは親子で遊んだり、体操をする機会を設けるのです。親子一緒に汗をかいて下さい。自律神経の働きが良くなり、体力向上にも繋がります。

（体力低下の予防策）

子どもに、親を独り占めできる時間を持たせて下さい。子どもの心の居場所を作って下さい（心の問題予防策）。親の方も子どもの動きを見て成長を感じ、喜びを感じられることでしょう。

つまり、動くことでお腹がすき、食事が進みます。夜には心地よい疲れをもたらしてくれ、ぐっすり眠れます。親子体操の実践は、食事や睡眠の問題改善にしっかり繋がっていきます。

こんな体験をもたせてもらった子どもは、きっと勉強や運動にも楽しく取り組んで健康になり、更に社会の人々とのコミュニケーションがしっかりとれる若者に成長していくはずです。

子どもの健全育成のためには、急がば回れ、乳幼児期から「親子ふれあい体操」を大切にしていきませんか！

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

2月園だより

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

2月園だより

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん